

⑧ 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料における情報通信機器を用いた診療に係る評価の新設

第1 基本的な考え方

情報通信機器を用いた診療における閉塞性無呼吸症候群に対する持続陽圧呼吸（CPAP）療法を実施する際の基準を踏まえ、情報通信機器を用いた場合の在宅持続陽圧呼吸療法指導管理について、新たな評価を行う。

第2 具体的な内容

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料について、情報通信機器を用いた診療を実施した場合の評価を新設する。

改 定 案	現 行
<p>【在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料】</p> <p>[算定要件]</p> <p>注3 <u>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2を算定すべき指導管理を情報通信機器を用いて行った場合は、2の所定点数に代えて、218点を算定する。</u></p> <p>[施設基準]</p> <p>六の四の三 <u>在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の施設基準等</u></p> <p>(削除)</p> <p>(1) <u>在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算の施設基準</u></p>	<p>【在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料】</p> <p>[算定要件]</p> <p>(新設)</p> <p>[施設基準]</p> <p>六の四の三 <u>在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の遠隔モニタリング加算の施設基準</u></p> <p><u>電話以外による指導を行う場合は、情報通信機器を用いた診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。</u></p> <p>(新設)</p>

<p><u>電話以外による指導を行う場合は、情報通信機器を用いた診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。</u></p> <p>(2) <u>在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注3の施設基準</u> <u>情報通信機器を用いた診療を行うにつき十分な体制が整備されていること。</u></p>	<p>(新設)</p>
---	-------------